

2019/5 Vol. 15

水戸赤十字病院広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177(代表) <http://www.mito.jrc.or.jp>

ご自由にお持ちください **Take Free!**

虹 にじ

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します。

就任のご挨拶

寄り道コラム ~file 7~
もしかして認知症？



5月10日に開催した「看護の日イベント」

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.



日本赤十字社 水戸赤十字病院
Japanese Red Cross Society

診療科紹介Vol.15 病理診断科

地域医療連携課

地域医療連携懇親会の開催について

平成30年度第2回症例検討会(CPC)
を開催しました

糖尿病の診療体制について



院長 佐藤 宏喜

就任のご挨拶

本年4月1日付 水戸赤十字病院長に就任いたしました。私は島根医大（現島根大学医学部）卒業で、慶應義塾大学外科学教室に入局、卒後2年目の昭和59年に水戸赤十字病院で佐久間正祥現名誉院長に外科のイロハを教えてくださいました。翌年の晴嵐荘病院（現茨城東病院）での研修を経て慶應乳腺外科のグループに所属し、平成元年から再び水戸赤十字病院勤務となり現在に至っていますので外科医、乳腺外科医としての私は当院と地域の皆様に育てていただいたものと感謝しております。このたび院長職を拝命するにあたり、その重責をひしひしと感じると同時に、これまでの恩返しができるよう努める所存です。

当院は近隣の総合病院の2/3～1/2の医師数で、通常の診療業務に加え、赤十字グループの一員として災害時の傷病者の受入、救護班、DMATの派遣を含め災害拠点病院としての役割も担い、職員一同奮励いたしております。懸念されていた産婦人科も満川前院長のご尽力により継続の方向となり、また消化器内科医1名が4月に着任しましたが、内科を中心とした医師不足は容易に解決できないのが現状です。

超高齢化社会の波が押し寄せ、より厳しくなってきた医療財務環境の下、働き方改革、地域医療構想による病院の再編・統合等を視野に入れ今後の当院のあり方を考えると、まず近隣施設との競合から連携促進、機能分化へ舵を切らねばならず、これまで以上に病診連携、病病連携が重要と考えております。

当院は大正12年の開設で間も無く100周年を迎えます。令和という新しい時代に輝かしい100周年を祝えるよう一丸となって『地域に愛され信頼される病院』を目指してまいりますので、より一層のご支援をお願いいたします。

病院機能評価【3rdG:Ver.2.0】の認定を更新いたしました

当院は、公益財団法人 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価において、一般病院種別Bの認定基準を満たしていると認められ、2019年5月10日付で認定を更新しました。

評価の結果明らかになった課題に対し、職員一同、医療の質の向上を目指し、改善活動を継続してまいります。



病理診断科 Pathological diagnosis department



部長 堀 眞佐男

当科は、1)病理解剖 2)病理組織診断 3)細胞検査
4)病理外来と多岐にわたる業務に携わっております。

病理解剖は、不幸にも病気で亡くなられた方のご遺体から臓器を提供させていただき、臨床診断の確認や直接死因の解明あるいは治療の効果等について肉眼的・顕微鏡学的に調べます。その結果は報告書として主治医に提出されてご遺族への説明に用いられ、今後同様の症例があった場合の参考資料、あるいは全国公共機関への統計データなどとして有効に活用されています。

病理組織診断は、患者さんの体の一部の組織あるいは手術で摘出された病変・臓器全体を精査して顕微鏡検査で最終診断をくだし、今後の治療方針などを決定する重要な業務です。またこれらの検体は、その細胞内の遺伝子・染色体異常やタンパク質の解析に用いられることがあります。最近注目されている分子標的治療薬の選択に不可欠な材料となるのです。

細胞検査は細胞検査士(当院には現在5名おります)が、尿

や痰などの液体・無形検体中の細胞や乳房・肺などから針で吸い取った細胞あるいは子宮などから擦り取った細胞を顕微鏡で観察します。主にかん細胞やその可能性の高い細胞を見つけ出す検査で、がんの早期発見に威力を発揮する検査法のひとつです。

病理外来は、当院での病理組織診断や細胞検査の結果を直接病理医から訊きたいと希望される患者さんを対象に行っております。肉眼写真のコピーや顕微鏡写真をモニター画面に映して、患者さんが十分納得されるまで説明をさせていただいております。

また当科のスタッフは毎年のように学会発表を積極的に行っており、自己研鑽に努めております。正しい診断のためには、数多くの新しい知識を身に付けていくことが大事であると全員が考えているからです。

file.7

寄り道コラム

当院では、主に外来患者の皆さまに向けた疾病予防・健康増進の情報提供の場として、「寄り道講座」を月2回程度実施しています。当コラムではその内容についてご紹介します。

もしかして認知症？



現在、85歳以上の4人に1人がなっていると言われる認知症。高齢化が進む中で、誰もがなる可能性があり、関わることになるかもしれない身近な病気です。認知症は早く気付いて対応することで、その症状を軽減できたり、進行を遅らせたりすることができます。

■ 認知症とは？

記憶障害や状況判断が不適切になるなど、生活する上での支障が少しずつ増えていく脳の病気です。

■ 「もの忘れ」と「認知症」は違います

昨日の夕食が思い出せず、認知症では・・・と心配になったことはありませんか？



■ 認知症の気づきチェック

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 財布を盗まれたという
- 計算の間違いが多くなった
- だらしなくなった
- 物の名前が出てこなくなった
- いつも降りる駅なのに乗りすごした
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 夜中に急に起き出して騒いだ



■ どこに相談すればいいの？

まず、かかりつけの医師に相談しましょう。かかりつけ医がない場合、各市町村の保健所や地域包括支援センターに相談しましょう。

地域医療連携課

地域医療連携懇親会の開催について (登録医の皆様へ)

当院は、平成31年4月1日現在、登録医療機関数が334施設、登録医数が426名となっており、日頃より地域医療連携業務にご協力頂いているところです。そこで、地域医療機関の先生方との連携をより一層深めたく、恒例となりました「地域医療連携懇親会」を下記のとおり開催を予定しております。詳細なご案内については別途通知しますので、ご参加のほどよろしくお願いたします。

- 1.日 時/令和元年7月11日(木)
18:30~21:00 (受付18:00~)
- 2.会 場/ホテル テラス ザ ガーデン水戸
水戸市宮町1-7
☎:029-300-2500

平成30年度第2回 症例検討会(CPC) を開催しました



平成31年2月13日(水)当院にて、平成30年度第2回症例検討会(CPC)を開催しました。

「大腸がん術後10年を経て、多発する肺結節を呈し、呼吸不全で死亡した1例」と題し、呼吸器内科部長 富岡医師によるプレゼンテーション、病理診断科部長 堀医師による病理解説が行われ、司会の佐藤院長のもと、活発な質疑が行われました。

今回は院内外から28名の参加をいただきました。
次回も広くご案内しますので、ご参加ください。

糖尿病外来の診療体制について

平成30年2月に当院糖尿病内科の常勤医が不在となる旨を通知しましたが、平成31年4月より診療に復帰しましたのでお知らせいたします。患者の皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。また、地域の先生方には多大なご協力をいただき感謝申し上げます。ご紹介頂く場合、地域医療連携課で事前に診療予約をお取りできますので、ご活用下さい。

就任のお知らせ【平成31年4月1日付】

内科	藤原 直幸(ふじわら なおゆき)	
外科	栗原 俊明(くりはら としあき)	郡司 崇裕(ぐんじ たかひろ)
	小笠原 利仁(おがさわら としひと)	石川 結美子(いしかわ ゆみこ)
整形外科	河野 衛(こうの まもる)	
皮膚科	川喜田 遥香(かわきた はるか)	
泌尿器科	稲毛 達朗(いなげ たつろう)	
産婦人科	島田 佳苗(しまだ かなえ)	奥口 聡美(おくぐち さとみ)
	原田 祐一(はらだ ゆういち)	

上記の職員が新たに就任しました。よろしくお願いたします。

退職のお知らせ【平成31年3月31日付】

院長	満川 元一 ※	
外科	小松原 勇太	島根 学
	間室 奈々	落合 成人
整形外科	大西 美緒	
皮膚科	伊藤 美佳子 ※	
	奥根 真里	
泌尿器科	大塚 勝太	
	大川 瑞穂 ※	
産婦人科	福地 弘子	小林 友紀
	廣瀬 佑輔	
放射線科	宮村 恵一 ※	

上記の職員が退職いたしました。大変お世話になりました。
なお、※印の職員は、退職後も嘱託として診療いたします。

紹介状持参のお願い



次の場合は、「**紹介状**」が必要となります。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合

お持ちでない方は

選定療養費5,400円(税込)が必要となります。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。

水戸日赤で訪問看護、始めました!

平成31年4月より、地域医療の充実に貢献するため、当院で「訪問看護」の提供をはじめます。当院におかかりの患者さまに対し退院後のサポートをしていきます。患者さまや、家族が安心して自宅で過ごせるように取り組んでいきますので、よろしくお願いたします。



「水戸日赤でお産」という選択肢

産婦人科医と経験豊富な助産師たちが、妊婦さんを一丸となってケアいたします。ハイリスクでない方も、里帰り分娩の方も、当院でのお産を歓迎いたします。受診を希望する妊婦さんからの電話予約も可能ですので、産科へお問い合わせ下さい。

